


アスカイノデ	<i>Polystichum fibrillosopaleaceum</i> (Kodama) Tagawa	絶滅危惧 I 類
		オシダ科
選定理由	個体数が極端に少なく、生育地が人の生活領域に含まれているため、環境の変化による種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	写真(村瀬正成) 標本 
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は塊状になり、葉柄下部の鱗片は披針形でややねじれ、葉軸下部の鱗片は糸状で長い。	
生態的特徴	多くは海岸近くの林床に生育する。	
分布状況	本州(宮城県以西-近畿地方)・高知県・大分県に分布する。岐阜県では県南中部に生育地がある。	
減少要因	林縁部に生育しており、山林開発の対象になりやすい。隣接する樹木を伐採したことにより、風通しと日当たりが強くなり生育地が消失した例もある。	
保全対策	生育地や周辺地区の山林開発を控え、生育環境の維持活動に努める。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成